第4次美里町行政改革大綱 令和4年度の取組について

令和5年9月 総務課行政改革推進係

1 はじめに

これまで町は、平成19年に美里町行政改革大綱、平成24年に第2次美里町行政改革大綱、平成29年に第3次美里町行政改革大綱をそれぞれ策定し、これに基づき令和4年度まで行政改革に取り組んできた。町を取り巻く厳しい社会状況の中、職員の意識改革を図りながら引き続き行政改革に取り組むべく、令和4年度に第4次美里町行政改革大綱(以下「第4次大綱」という。)を策定し、実施計画書に基づき行政改革の取組を行っている。

2 第4次大綱に基づく実施計画

第4次大綱については、EBPM(根拠に基づく政策立案)の推進、BPR(業務改革)の推進及び効率的な業務委託の検証について、8つの実施計画により、取組成果の検証を行います。

なお、第4次大綱計画期間において、早急な取り組みが必要な課題が生じた場合は、随時、 実施計画を追加し検証を行います。

【 継続して取り組む実施計画 】

項目No.	項目名	詳細
1-1	データに基づく政策立案	
1-2	実施効果を分析した事業の見直し	
2-1	行政手続のオンライン化	オンライン申請の拡大
	JJ	オンライン決済の拡充
2-2	情報システムの標準化	標準化システムの導入
	II .	標準化システムの導入に伴う業 務フローの見直し
2-3	セキュリティ対策の徹底	
2-4	情報セキュリティ、IT人材の確保・育成	
3-1	指定管理者制度導入施設の検証	
3-2	業務委託の検証	

【 取り組みが完了した実施計画 】

項目No.	項目名	詳細

3 実施計画の取組状況

各実施計画の取組状況の概要については、別添「第4次美里町行政改革大綱 令和4年度

実施計画書」のとおりとなります。

(1) EBPMの推進

1-1) データに基づく政策立案

現状の政策立案手順に基づく指標の状況を確認し、EBPMを導入した場合の現 状把握、明確な根拠及び到達目標の必要性について確認しました。

町政策へのEBPM導入について、政策主管課と課題を整理し、導入の手法等について段階的に検証します。

1-2) 実施効果を分析した事業の見直し

本年度について具体的な取り組みはありませんでした。

上記、政策立案手法の確立にならい、既存事業務についても当該視点による事業の 検証が行える仕組みの構築を検討します。

(2) BPRの推進

2-1) 行政手続のオンライン化

国が進める27の申請手続のうち、支給認定の申請、保育施設等の利用申込、保育施設等の現況届、罹災証明書の発行申請の4手続を除く23手続について、オンライン申請の受付を開始しました。引き続き、実施に伴う問題点の解決と、その他手続のオンライン化の拡大について検討します。

また、オンライン申請の拡大に伴い、当該手数料等オンライン決済やキャッシュレス決済等の導入を検証し、利用者の利便性の向上について検討します。

2-2) 情報システムの標準化

国が検討している各種システムの標準仕様書の内容について検証しました。 仕様確定後、導入システムの仕様変更に伴い発生する改修費用の積算と、当該改修 システムを使用し業務の効率化を図るための業務フローの見直しを行います。

2-3) セキュリティ対策の徹底

国が示す「地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」及び「小規模自治体のためのCSIRT構築の手引き」等を参照に町の情報セキュリティについて検討しました。

検討内容を基に、美里町情報セキュリティポリシーを改正し、実施体制を整備します。

2-4) 情報セキュリティ、IT人材の確保・育成

専門的な人材の採用を検討しましたが、国が進める令和7年度までの行政システム標準化に向け、慢性的なデジタル人材不足が生じており、採用することができませんでした。また、デジタル化推進のための職員の育成の一環として、宮城県が主催する研修に11人参加しました。

引続きデジタル人材の確保に向けた調整を行うとともに、デジタル化に対応できる職員の育成を行います。

(3) 効率的な業務委託の検証

3-1) 指定管理者制度導入施設の検証

本年度について、具体的な取り組みはありませんでした。

指定管理者制度を導入している施設について、各施設の設置目的を明確にした上で、指定管理の業務範囲や費用対効果を検証します。

3-2) 業務委託の検証

本年度末及び令和5年度に委託期間が満了となる2業務について、現在検討している包括委託の検証として、2業務を統合し、一括で発注することとしました。引き続き、委託可能業務の洗い出しと、包括委託の有効性についての検証を行います。

【 令和4年度行政改革取組項目数 】

	形如话口	令和4年度に着		
	取組項目	手したもの	うち取組完了 としたもの	
(1) EBPMの推進	2	1	0	
(2) BPRの推進	4	4	0	
(3) 効率的な業務委託の検証	2	1	0	
(4)新たに追加した取組	0	0	0	
合 計	8	6	0	

4 おわりに

令和4年度については、第4次大綱の初年度であること及び策定が年度末となったことから、着手した実施計画は6計画となり、取組に係る大きな進捗はありませんでした。第4次大綱の取組には、国が実施期限を定めた行政事務も含まれることから、関係部署と連携を図りながら、期限を意識した進捗管理により取り組みを進めます。

また、行政改革を意識し、限られた資源(ヒト、モノ、カネ、情報)を有効に活用するための思考と、それを実現する行動力を持った職員の育成も併せて行っていく必要があります。

第4次美里町行政改革大綱実施計画一覧表

項目No.	大項目10.	大項目	小項目No.	小項目	詳細No.	詳細名称	指標No.	指標	達成目標年度	担当課	完了	実施計画 頁No.
1	1	EBPMの推進	1	データに基づく政策立案			1	事業検証体制の導入進捗状況	令和5年度			
2	1	EBPMの推進	1	データに基づく政策立案			2	実施割合=EBPM検証事業/年度別新規事業	各年度100%	***************************************	***************************************	1
3	1	EBPMの推進	2	実施効果を分析した事業の見直し			1	事業検証体制の整備進捗状況	令和5年度			2
4	1	EBPMの推進	2	実施効果を分析した事業の見直し			2	実施割合=EBPM検証事業/年度別検証対象事業	各年度100%			2
5	2	BPRの推進	1	行政手続のオンライン化	1	オンライン申請の拡大	1	進捗割合=オンライン申請対応手続/申請対象手 続	令和9年度			3
6	2	BPRの推進	1	行政手続のオンライン化	2	オンライン決済の拡充	1	オンライン決済の導入進捗状況	令和7年度			3
7	2	BPRの推進	2	情報システムの標準化	1	標準化システムの導入	1	進捗割合=標準化システム導入数/標準化対象シス	令和7年度			
8	2	BPRの推進	2	情報システムの標準化	2	標準化システムの導入に伴う業務フローの見直	1	業務フロー見直し進捗状況	令和7年度	***************************************	***************************************	5
9	2	BPRの推進	2	情報システムの標準化	2	標準化システムの導入に伴う業務フローの見直	2	業務マニュアル見直し進捗状況	令和7年度			
10	2	BPRの推進	3	セキュリティ対策の徹底			1	データ漏えい件数	各年度O件			7
11	2	BPRの推進	3	セキュリティ対策の徹底			2	コンピューターウイルス感染件数	各年度O件			/
12	2	BPRの推進	4	情報セキュリティ、IT人材の確保・育成			1	デジタル化推進人材(推進体制)の確保	令和8年度			
13	2	BPRの推進	4	情報セキュリティ、IT人材の確保・育成			2	デジタル化推進のための職員育成	令和8年度			8
14	3	効率的な業務委託の検証	1	指定管理者制度導入施設の検証			1	各年度更新時に指定管理の在り方を検証	令和8年度			10
15	3	効率的な業務委託の検証	2	業務委託の検証			1	職員優先配置業務(委託不可)の把握	令和5年度			
16	3	効率的な業務委託の検証	2	業務委託の検証			2	委託可能業務の抽出	令和5年度			
17	3	効率的な業務委託の検証	2	業務委託の検証			3	既存委託業務の段階的包括委託導入を検討	令和6年度			11
18	3	効率的な業務委託の検証	2	業務委託の検証			4	業務の標準化に伴う職員配置計画の見直し	令和7年度			
19	3	効率的な業務委託の検証	2	業務委託の検証			4	業務の委託化の検証	令和7年度			
20	4	その他の取組み										

※「柱」欄、〇付数字は重点項目 1/1

担当課	係	進捗管理者	担当者
総務課	行政改革推進係	佐野 仁	門間 裕匡

【①基本情報】

大項目	小項目
1 【EBPMの推進】	(1) データに基づく政策立案

令和8年度

4	少王な取組み(Pian)】
	令和4年度
	EBPMの町施策への展開と進め方について検討
	令和5年度
	利用者の視点にたった政策を展開するため、EBPMに基づく現状把握、政策根拠、達成指標、達成目標の設定及び現行事
	業の効果検証方法について検討
	令和6年度
	令和7年度

【③具体的な取組項目のスケジュール(Plan)】「計画 ------> ・実績 ----->

2 C 11 - 1 - 2 - C - 3 C 11 - 2 C 1 - 2 C 1 - 2 C 1	· · · (1 ld11/1	P1 H	/ 132		
具体的な取組項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実施方法の検討	_	>			
効果検証					>
効果検証に基づく修正					>

[4

令和4年度	
既存事業の政策	を立案手順とEBPMを導入した場合の手順を比較により相違点を検証し、指標項目等の状況を確認した。
令和5年度	
令和6年度	
令和7年度	
令和8年度	

【⑤成果(Check)】

1 S MAR (CITECR)						
目標又は指標	(1) ①事業検証体制の導入進捗状況(目標 令和5年度完了)					
目標又は指標 (基 準) の 考 え 方	町単独事業におけ ための仕組みの検記	ける新規政策立案時に E・構築	Е、ЕВРМ (根拠に基づく	政策立案) による	る事業検証を行う
目標又は指標	令和4年度	令和5年度	令和6年	F度 令	·和7年度	令和8年度
基準値	_	基準作成				
実績	_					
目標又は指標	(1)②実施割	合=EBPM検証	事業/年度別	川新規事業((目標 各年度	100%)
目標又は指標 (基 準) の 考 え 方	各年度、町単独の	新規事業について、	EBPMを実施	施した割合に』	よる成果の検証	
目標又は指標	令和4年度	令和5年度	令和6年	F度 令	和7年度	令和8年度
基準値			100.00)%	100.00%	100.00%
実績						
				l		
令和4年度	成果の視点	口ヒト	□モノ	☑カネ	□情報	☑その他
成果の内容	令和5年3月に第	4次美里町行政改革	大綱を策定の7	ため、令和4年	E度中の成果はな	:\\.
令和5年度	成果の視点	Øヒト	□モノ	☑カネ	□情報	☑その他
成果の内容						
令和6年度	成果の視点	口とト	□モノ	☑カネ	□情報	☑その他
成果の内容						
令和7年度	成果の視点	口とト	□モノ	☑カネ	□情報	☑その他
成果の内容						
令和8年度	成果の視点	口とト	□モノ	☑カネ	□情報	☑その他
成果の内容						
【⑥課題・改善(Actio	on)]					
	時【令和4年度計	画 (Plan)〜反映]			
	こで、現状を的確に把抗					
	事業の終期を明示する。 57.5 年 東 記 (D)		業継続を改め、	メリハリのあ	る事業を展開す	る。
□ 〒和4年度【〒 □ □	和 5 年度計画 (Pl a	an)个反映)				
令和5年度【令	和6年度計画(Pl	an)〜反映】				
令和6年度【令	和 7 年度計画 (Pl	an)〜反映】				
令和7年度【令	和8年度計画 (Pl	an)〜反映】				

1

担当課	係	進捗管理者	担当者
総務課	行政改革推進係	佐野 仁	門間 裕匡

【①基本情報】

大項目	小項目		
1 【EBPMの推進】	(2) 実施効果を分析した事業の見直し		

【②主な取組み(Plan)】 会和4年度

令和4年度
EBPMの町施策への展開と進め方について検討
令和5年度
利用者の視点にたった政策を展開するため、EBPMに基づく現状把握、政策根拠、達成指標、達成目標の設定及び現行事

業の効果検証方法について検討 令和6年度

令和7年度

令和8年度

【③具体的な取組項目のスケジュール(Plan)】「計画 ------> ・実績 ----->

具体的な取組項目	令和4	4年度	令和!	5年度	令和6	6年度	令和7	7年度	令和8	3年度
実施方法の検討				>						
効果検証										>
効果検証に基づく修正										>

④各年度取組実績(Do)】	
令和4年度	
令和5年3月に第4次美里町行政改革大綱を策定のため、令和4年度中の取組はない。	
令和5年度	
令和6年度	
令和7年度	
令和8年度	

(5)

成果(Check)]					
目標又は指標	(1)①事業検討	証体制の整備進捗料	犬況(目標 令和	15年度完了)	
目標又は指標 (基 準) の 考 え 方	町単独事業におけ ための仕組みの検証		、EBPM(根拠に	[基づく政策立案] によ	(る事業検証を行う
目標又は指標	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
基準値	-	基準作成			
実 績	-				
目標又は指標	(1)②実施割行	今=EBPM検証事	事業/年度別検証	E対象事業(目標	各年度 100%)
目標又は指標 (基 準) の 考 え 方	各年度、町単独の	新規事業について、	EBPMを実施した	割合による成果の検証	
目標又は指標	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
基 準 値			100.00%	100.00%	100.00%
実 績					
令和4年度	成果の視点	口ドト	ロモノ 🛂	カネ □情報	☑その他
成果の内容	令和5年3月に第	4次美里町行政改革	大綱を策定のため、	令和4年度中の成果は	ない。
令和5年度	成果の視点	口とト	□モノ 🔽	カネ □情報	☑その他

令和4年度	成果の視点	口にト	ロモノ	☑カネ	□情報	☑その他
成果の内容	令和5年3月に第	4次美里町行政改	革大綱を策定の	ため、令和4年月	度中の成果はない	· \ ₀
令和5年度	成果の視点	Ø₽ŀ	□モノ	☑カネ	□情報	☑その他
成果の内容						
令和6年度	成果の視点	Ø₽ŀ	□モノ	☑カネ	□情報	☑その他
成果の内容						
令和7年度	成果の視点	口ドト	□モノ	☑カネ	□情報	☑その他
成果の内容						
令和8年度	成果の視点	Ø₽ŀ	□モノ	☑カネ	□情報	☑その他
成果の内容						

【⑥課題·改善(Action)】

り詳越・以善(ACTION) 】
第4次大綱策定時【令和4年度計画(Plan)へ反映】
現行事業について、現状を的確に把握し、その効果を検証することで、慢性的な事業継続を改め、住民視点を考慮した事業
を展開する。
令和4年度【令和5年度計画 (Plan)へ反映】
_
令和5年度【令和6年度計画 (Plan)へ反映】
令和6年度【令和7年度計画 (Plan)へ反映】
令和7年度【令和8年度計画 (Plan)へ反映】
令和8年度【総括】

担当課	係	進捗管理者	担当者
総務課	情報システム係	佐野 仁	加藤 敏典

【①基本情報】

大項目	小項目
2 【BPRの推進】	(1) 行政手続のオンライン化①オンライン申請の拡大②オンライン決済の拡充

【②主な取組み(Plan)】

令和	4	年	度

国が進める子育て関係、介護関係及び被災者支援関係の27手続について、オンライン申請ができる環境を整備する。

令和5年度

オンライン申請の拡大に伴う申請時の手数料徴収手段の拡大及び窓口手数料等のキャッシュレス決済の導入について検討する。 押印を廃止した 776 申請手続について、オンライン対応の内容(申請様式の提供、オンライン申請等)を検討する。

令和6年度

令和7年度

令和8年度

【③具体的な取組項目のスケジュール(Plan)】「計画 ------ ・実績 ----- 」

	** (***********************************			<u> </u>	
具体的な取組項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
国が進める 27 手続の申 請のオンライン化	>				
オンライン決済の検討			>		
オンライン申請対応方法 の検討		>			
オンライン申請実施手段 の検討			>		
オンライン申請システム の整備				->	

【④各年度取組実績(Do)】

令和4年度

国が進める 27 申請手続のオンライン化に伴い、支給認定の申請、保育施設等の利用申込、保育施設等の現況届、罹災証明 書の発行申請を除く 23 手続について、オンライン申請受付を開始した。

令和5年度

令和6年度

令和7年度

令和8年月	盯
-------	---

【⑤成果 (Check)】

51W714 (O110011/1							
目標又は指標	①オンライン申記進捗割合=オン		手続/申請対象手約	売(目標 令和8 ^年	F度完了)		
目標又は指標 (基 準) の 考 え 方	オンライン申請対 対象手続数:令和		て、オンライン化した	た割合			
目標又は指標	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
基準値	_	3. 23%			100%		
実 績	3. 23%						
	②オンライン決済の拡充 オンライン決済の導入進捗状況						
目標又は指標							
目標又は指標目標又は指標	オンライン決	斉の導入進捗状況) で使用できる決裁サ	ーービス数			
	オンライン決 済	斉の導入進捗状況 キャッシュレス決済)で使用できる決裁サ QRコード決裁 4(*2)、		3) 等)		
目標又は指標	オンライン決 オンライン決済 ((想定: クレジット	斉の導入進捗状況 (キャッシュレス決済) カード決済 3(*1)、(、電子マネー決裁 5(*			
目標又は指標 (基 準) の 考 え 方	オンライン決 オンライン決済 ((想定: クレジット	斉の導入進捗状況 (キャッシュレス決済) カード決済 3(*1)、(QRコード決裁 4(*2)	、電子マネー決裁 5(*			
目標又は指標 (基 準)	オンライン決 オンライン決済 ((想定:クレジット *1: VISA/JCB/maste	斉の導入進捗状況 (キャッシュレス決済) カード決済 3(*1)、Gercord *2PayPay/de	QRコード決裁 4(*2)、 払い/auPAY/FamiPay	、電子マネー決裁 5(***3: suica/wAon/nan	aco/iD/REdy		

令和4年度	成果の視点	☑ヒト	□モノ	☑カネ	□情報	☑その他
成果の内容	国が進める 27 手続	売のうち、26 手続に	こついてオンラク	イン申請受付がて	ごきる環境を整備	情した。
令和5年度	成果の視点	口にト	□モノ	☑カネ	□情報	☑その他
成果の内容						
令和6年度	成果の視点	口ドト	□モノ	☑カネ	□情報	☑その他
成果の内容						
令和7年度	成果の視点	Øヒト	□モノ	☑カネ	□情報	☑その他
成果の内容						
令和8年度	成果の視点	口にト	□モノ	☑カネ	□情報	☑その他
成果の内容						

【⑥課題·改善(Action)】

第4次大綱策定時【令和4年度計画(Plan)へ反映】

押印を求める行政手続きの見直しを経て、国が進めるピッタリサービスとして 27 の行政手続について、先行してオンライン化を進め、押印を廃止したその他申請手続きについても、住民の利便性向上のため、オンライン化について検討する。また、オンライン申請の推進に当たり手数料等の徴収が課題となることから、並行てしオンライン決済及びキャッシュレス決済の導入についても検討を行う必要がある。

令和4年度【令和5年度計画 (Plan)へ反映】

オンライン申請の拡大に伴う申請時の手数料徴収手段の拡大及び窓口手数料等のキャッシュレス決済の導入について検討する。 押印を廃止した 776 申請手続について、オンライン対応の内容(申請様式の提供、オンライン申請等)を検討する。

令和5年度【令和6年度計画(Plan)へ反映】

令和6年度【令和7年度計画 (Plan)~反映】 令和7年度【令和8年度計画 (Plan)~反映】 令和8年度【総括】

担当課	係	進捗管理者	担当者
総務課	情報システム係	佐野 仁	加藤 敏典

【①基本情報】

	大項目	小項目
		(2)情報システムの標準化
2	【BPRの推進】	①標準化システムの導入
		②標準化システムの導入に伴う業務フローの見直し

【②主な取組み(Plan)】

令和4年度

国が進める行政システムの標準化に伴い、国が検討する各システムの標準仕様書の検証及び当該仕様書に基づく標準化システムへの移行体制を整備する。

令和5年度

各システム別に標準化への移行スケジュールを作成するとともに、システムの標準化に伴う業務ふお一の見直し及び標準 化から除外される業務について代替手段を検討する。

令和6年度

令和7年度

令和8年度

【③具体的な取組項目のスケジュール(Plan)】「計画 ------> ・実績 · 実績 · 実績 · 実績 · する

具体的な取組項目	令和4	4年度	令和:	5年度	令和6	6年度	令和7	7年度	令和8	3年度
標準化スケジュールの作				->						
成										
標準化に伴う既存業務フ			_			->				
ローの見直し										
代替手段の確保						>	•			
業務マニュアルの見直し								>		
標準化に伴う費用の算定						->				
標準化システムの運用開								>		
始										

【④各年度取組実績(Do)】

令和4年度
国が検討する各システムの標準仕様書内容について検証した。
令和5年度
令和6年度
令和7年度

令和8年度			

【⑤成果 (Check)】

の果(Check)」					
目標又は指標	①標準化システ、 進捗割合=標3		数/標準化対象シン	マテム数(目標)や	→ → → → → → → → → →
目標又は指標 (基 準) の 考 え 方		19 (固定資産税/健身 手当/軽自動車税/法	月末まで標準化シスラ 長管理/収納/個人住民 人/障害者福祉/介護保 5当/就学/住民基本台	税/国民年金/選挙人名 R険/後期高齢者医療例	名簿管理/児童扶養
目標又は指標	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
基準値	_	_	_	100%	100%
実 績	_	_	_		
目標又は指標	②標準化システ、 業務フロー見ī	ムの導入に伴う業績 直し進捗状況	努フローの見直し		
目標又は指標 (基 準) の 考 え 方	標準化システムに	係る業務フローの見記	直しが完了した割合		
目標又は指標	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
基 準 値	_	_	50%	100%	100%
実 績	_				
目標又は指標		ムの導入に伴う業績 ル見直し進捗状況	务フローの見直し		
目標又は指標 (基 準) の 考 え 方	標準化システムに	係る業務フローの見記	直しに伴いマニュアル	を改正した割合	
目標又は指標	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
基準値	_	_	50%	100%	100%
実 績	_	_			

令和4年度	成果の視点	口とト	□モノ	☑カネ	☑情報	☑その他
成果の内容	各システムの標準	仕様書について、	内容を確認し意	見を提出した。		
令和5年度	成果の視点	口にト	ロモノ	☑カネ	☑情報	☑その他
成果の内容						
令和6年度	成果の視点	口にト	口モノ	☑カネ	☑情報	☑その他
成果の内容						
令和7年度	成果の視点	口とト	ロモノ	☑カネ	☑情報	☑その他
成果の内容						
令和8年度	成果の視点	口にト	□モノ	☑カネ	☑情報	☑その他
成果の内容						

【⑥課題·改善(Action)】

5

第4次大綱策定時【令和4年度計画 (Plan)へ反映】

行政システムの標準化については、国が主導し、令和7年度を導入期限とし進められている。標準化されることで、行政コストの削減効果が見込まれる一方で、これまで独自システムをベースに行ってきた業務フローの見直しや、標準仕様書から除外された項目についての必要性の判断と補完手段の確保が課題となる。

令和4年度【令和5年度計画 (Plan)へ反映】

国の標準仕様書については、未だ各自治体の意見を集約している状況にあり、最終形態が見込めない状況にある。現行の情報システム更新期限である令和7年度に併せ、標準化システムへの移行スケジュールを作成し、計画的に移行を進める必要がある。

令和5年度【令和6年度計画(Plan)へ反映】

令和6年度【令和7年度計画 (Plan)へ反映】

令和7年度【令和8年度計画 (Plan)へ反映】

令和8年度【総括】

6

担当課	係	進捗管理者	担当者
総務課	情報システム係	佐野 仁	加藤 敏典

【①基本情報】

大項目	小項目
2 【BPRの推進】	(3)セキュリティ対策の徹底

【②主な取組み(Plan)】

令和4年度

急激なデジタル環境の変化に対応し、強固な情報セキュリティを維持するため、美里町セキュリティポリシーの見直しを 検討する。

令和5年度

美里町セキュリティポリシーを改正し、組織的な情報セキュリティ対策の強化及び情報セキュリティインシデントへの対応体制を構築する。

令和6年度

令和7年度

令和8年度

【③具体的な取組項目のスケジュール(Plan)】「計画 -----> ・実績 -----

					_
具体的な取組項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
情報セキュリティ体制の 検討	 →	>			
美里町情報セキュリティ ポリシーの改正		>			
情報セキュリティ体制の 構築		>			
情報セキュリティ研修の 実施					>

【④各年度取組実績(Do)】

令和4年度

国が示す「地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」及び「小規模自治体のためのCSIRT構築の手引き」等を参照に情報セキュリティについて検討しました。

令和5年度

令和6年度

令和7年度

令和8年度

【⑤成果 (Check)】

目標又は指標	データ漏えい件	数 各年度0件			
目標又は指標 (基 準) の 考 え 方	情報資産のデータ	7漏えいが発生した件	数		
目標又は指標	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
基準値	0	0	0	0	0
実 績	0				
目標又は指標	コンピューター	ウイルス感染件数	各年度0件		
目標又は指標 目標又は指標 (基 準) の 考 え 方			各年度0件 ターウイルスに感染し	た件数	
目標又は指標(基準)				た件数 令和7年度	令和8年度
目標又は指標(基準)の考え方	業務で使用するパ	パソコンがコンピュー	ターウイルスに感染し		令和8年度 0

令和4年度	成果の視点	口とト	□モノ	□カネ	☑情報	☑その他
成果の内容	データ漏えい及び	ジコンピューターウ	イルス感染の報	告はなかった。		
令和5年度	成果の視点	口ドト	□モノ	□カネ	☑情報	☑その他
成果の内容						
令和6年度	成果の視点	☑ヒト	□モノ	□カネ	☑情報	☑その他
成果の内容						
令和7年度	成果の視点	☑ヒト	□モノ	□カネ	☑情報	☑その他
成果の内容						
令和8年度	成果の視点	口とト	□モノ	□カネ	☑情報	☑その他
成果の内容						

【⑥課題·改善(Action)】

第4次大綱策定時【令和4年度計画 (Plan)へ反映】

行政サービスにおける急激なデジタル化の推進により、町が保有する情報資産を守るため、情報セキュリティ対策は重要であり、みずから責任を持って取り組む必要がある。

令和4年度【令和5年度計画(Plan)へ反映】

現在、総務課情報システム係で行っている情報セキュリティ対策について、情報システムの普及により、詳細なモニタリング体制が確保できない状況となっていることから、管理監視体制を細分化し、職員各々が情報セキュリティを意識し業務を行う体制を整備する必要がある。

令和5年度【令和6年度計画(Plan)へ反映】

令和6年度【令和7年度計画 (Plan)へ反映】

令和7年度【令和8年度計画 (Plan)~反映】

担当課	係	進捗管理者	担当者
総務課	情報システム係	佐野 仁	加藤 敏典

【①基本情報】

大項目	小項目			
2 【BPRの推進】	(4) 情報セキュリティ、IT人材の確保・育成			

【②主な取組み(Plan)】

会和	1	年	庻
	4	-	HÐ-

急激なデジタル化の推進に対応できる専門的な知識・見識を有する人材の雇用について検討する。

令和5年度

自治体DXの推進及び情報システムの標準化を見据え、専門的な知識を有する人材の確保について、継続的に検討する。 また、今後、自治体業務を進めるため、職員は、多岐にわたるデジタル化に関する知識・技術が求められることから、当該知識の習得を必須とし、計画的に育成する体制を検討する。

令和	6	年	度

令和7年度

令和8年度

【③具体的な取組項目のスケジュール(Plan)】「計画 ------> ・実績 ------ 」

具体的な取組項目	令和	4年度	令和!	5年度	令和6	年度	令和7	7年度	令和3	3年度
専門職員の確保							>			
情報システムに係る研修 計画の作成			>							
職員研修の実施										>

【④各年度取組実績(Do)】

令和4年度

専門的な人材の確保について、令和7年度までのシステムの標準化及び自治体DXの推進等により、慢性的な人員不足が 生じており、本町で想定した内容による人材の確保はできなかった。

令和5年度

令和6年度

令和7年度

令和8年度

【⑤成果 (Check)】

目標又は指標	票 デジタル化推進人材(推進体制)の確保 (目標:専門職員1人/年)									
目標又は指標 (基 準) の 考 え 方		専門的な知識を有する人材を確保する。 確保手段(外部人材の登用、直接雇用、職員の育成による確保)								
目標又は指標	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度					
基 準 値	1	1	1	1	1					
実 績	0									
目標又は指標	デジタル化推進の	のための職員育成	(目標:受講者数	数10人/年)						
目標又は指標(基準)	各分野における研修の実施、他団体が行う研修等への派遣、実証研修等の実施									
の考え方										
の 考 え 方 - 目標又は指標	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度					
• //	令和4年度 一	令和5年度 10	令和6年度 10	令和7年度 10	令和8年度 10					

令和4年度	成果の視点	☑ヒト	□モノ	□カネ	☑情報	☑その他
成果の内容	人材の確保はでき 修に9人参加した。	なかったが、県主	催のRPA実証	E研修に2人、マ	イナンバーに関	連する情報保護研
令和5年度	成果の視点	Ø₽ŀ	□モノ	□カネ	☑情報	☑その他
成果の内容						
令和6年度	成果の視点	Ø₽ŀ	□モノ	□カネ	☑情報	☑その他
成果の内容						
令和7年度	成果の視点	Ø₽ŀ	□モノ	□カネ	☑情報	☑その他
成果の内容						
令和8年度	成果の視点	口ドト	□モノ	□カネ	☑情報	☑その他
成果の内容						

【⑥課題·改善(Action)】

第4次大綱策定時【令和4年度計画(Plan)へ反映】

行政サービスにおける急激なデジタル化の推進により、業務の専門性が求められる。情報セキュリティ対策を強固にするう上でも、早急に当該知識を有する人材の確保が必要である。また、行政手続きにおいて、今後ますます拡大するデジタル化に対応していくため、IT人材の育成についても取り組む必要がある。

令和4年度【令和5年度計画(Plan)へ反映】

デジタル化の推進に伴い、情報システムに対する職員の知識向上は必須である。また、情報漏えい等のインシデント発生による住民への影響は大きく、その対応によっては、行政に対する信用失墜にもつながることから、組織全体の課題として取り組む必要がある。

令和5年度【令和6年度計画(Plan)へ反映】

令和6年度【令和7年度計画 (Plan)へ反映】

令和7年度【令和8年度計画 (Plan)へ反映】

担当課	係	進捗管理者	担当者
総務課	入札契約係	佐野 仁	阿部 晃

【①基本情報】

大項目	小項目
3 【効率的な業務委託の検証】	(1) 指定管理者制度導入施設の検証

【②主な取組み(Plan)】

令和4年度

令和5年度

令和5年度で契約満了となる4施設について検証する。

(1.交流の森・交流館(土田畑村)、2.本小牛田コミュニティセンター、3.下小牛田コミュニティセンター、4.駅東地域交流センター)

令和6年度

令和6年度で契約満了となる14施設について検証する。

(美里町スポーツ施設 (1 美里町トレーニングセンター (美里町農業者トレーニングセンター)、2.美里町南郷体育館、3.美里町素山野球場、4.美里町南郷球場、5.美里町牛飼テニスコート、6.美里町南郷テニスコート、7.美里町南郷運動場、8.美里町多世代ふれあい運動公園、9.美里町野外活動施設)、10.美里町スイミングセンター、11.美里町農産物直売所、12.美里町中埣コミュニティセンター、13.美里町北浦コミュニティセンター (美里町北浦地区農村集落多目的利用施設)、14.美里町青生コミュニティセンター)

令和7年度

令和7年度で契約満了となる2施設について検証する。

(1.農村環境改善センター、2.下二郷コミュニティセンター)

令和8年度

令和8年度で契約満了となる1施設について検証する。

(1. 美里町文化会館)

具体的な取組項目	令和	4年度	令和!	5年度	令和6	年度	令和7	7年度	令和8	8年度
内容の検証			>		- ->		->		>	

【④各年度取組実績(Do)】

令和4年度		
_		
令和5年度		
令和6年度		
令和7年度		
令和8年度		

【⑤成果 (Check)】

目標又は指標	各年度更新時に指定管理の在り方を検証 (目標:検証実施数/年)						
目標又は指標 (基 準) の 考 え 方	指定管理者制度導入している公の施設について、その内容、業務範囲、経費等とその効果を検証 し、情勢に応じた効率的な制度の運用を図る。						
目標又は指標	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
基 準 値	_	4	1 4	2	1		
実 績	_						

令和4年度	成果の視点	口にト	ロモノ	☑カネ	□情報	□その他
成果の内容	ı					
令和5年度	成果の視点	口とト	ロモノ	☑カネ	□情報	□その他
成果の内容						
令和6年度	成果の視点	口とト	□モノ	☑カネ	□情報	□その他
成果の内容						
令和7年度	成果の視点	口とト	口モノ	☑カネ	□情報	□その他
成果の内容						
令和8年度	成果の視点	口とト	□モノ	☑カネ	□情報	□その他
成果の内容						

【⑥課題·改善(Action)】

第4次大綱策定時	【今和4年度計画	(Dlan)~反映
		L FIGHT NIX IV

各施設における指定管理の在り方を検証し、単に横並びとするのではなく、施設の目的・実情に即した制度の運用と費用負担を検証し、管理内容を見直す。

令和4年度【令和5年度計画(Plan)へ反映】

_

令和5年度【令和6年度計画(Plan)へ反映】

令和6年度【令和7年度計画 (Plan)へ反映】

令和7年度【令和8年度計画 (Plan)へ反映】

担当課	係	進捗管理者	担当者
総務課	行政改革推進係	佐野 仁	門間 裕匡

【①基本情報】

	大項目	小項目			
3 【効率的な業務	委託の検証 】	(2)業務委託の検証			

【②主な取組み(Plan)】

令和4年度

令和5年度

業務について、職員優先配置業務と委託可能業務を明確に区分し、委託可能業務を特定し、当面の職員配置状況及び費用 対効果を考慮し委託化について検証する。

また、既存委託業務に関し、当該業務を集約し、効率化することによる費用の削減効果について検証する。

令和6年度

令和7年度

令和8年度

【③具体的な取組項目のスケジュール(Plan)】「計画 ------- ・実績 -----

/ チャー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• •• (1 1	uii/1	PIP			→				
具体的な取組項目	令和4	年度	令和:	5年度	令和6	年度	令和7	7年度	令和3	8年度
職員優先配置業務の特定				>						
委託可能業務の抽出				>						
既存委託業務の把握					>					
包括委託を導入した場合 の効果の検証						>				
職員配置計画の見直し								>		
委託化の検証・								>		

【④各年度取組実績(Do)】

令和5年3月に契約満了となる納付の呼びかけ業務及び令和5年9月に契約満了となる窓口業務について、包括委託の検 証のため、当該業務を包括して委託することとしました。

令和5年度

令和6年度

令和7年度

令和8年度			

成果(Check)】	,				
目標又は指標	職員優先配置業務	務(委託不可)の排	巴握 (目標:進抄	步率)	
目標又は指標 (基 準) の 考 え 方		、り職員でなければ行。 こ方がいい業務につい		憂先配置業務」として	特定する。また、
目標又は指標	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
基準値	_	100%	_	_	_
実 績	_				
目標又は指標	委託可能業務の打	由出 (目標:進払	步率)		
目標又は指標 (基 準) の 考 え 方		既に委託している業 終務に係るボリューム		いて委託している業務	を委託可能業務と
目標又は指標	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
基 準 値	_	100%			Ī
実 績	_				
目標又は指標	既存委託業務のほ	没階的包括委託導 力	人を検討 (目標:	: 進捗率)	
目標又は指標 (基 準) の 考 え 方		P容、業務範囲、経費等 引減と事務の効率化を)、包括委託を導入し	た場合の効果を検
目標又は指標	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
基準値	_	30%	100%	_	_
実 績	_				
目標又は指標	業務の標準化に何	半う職員配置計画の	の見直し (目標:	: 進捗率)	
目標又は指標 (基 準) の 考 え 方		こついて、職員優先配 根拠に基づく適切な		終委託に対する検証	状況を基に職員の
目標又は指標	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
基準値	_				
実 績	_				
目標又は指標	業務の委託化の	倹証 (目標:検記	正実施数/年)		
目標又は指標 (基 準) の 考 え 方		「年において、委託業」)業務について、情勢			職員優先配置業務
目標又は指標	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
基 準 値	_				
実 績					

令和4年度	成果の視点	口にト	□モノ	☑カネ	□情報	□その他	
成果の内容	-						

令和5年度	成果の視点	☑ヒト	口モノ	☑カネ	□情報	□その他
成果の内容						
令和6年度	成果の視点	₽Łŀ	□モノ	☑カネ	□情報	□その他
成果の内容						
令和7年度	成果の視点	口によ	□モノ	☑カネ	□情報	□その他
成果の内容						
令和8年度	成果の視点	口にト	ロモノ	☑カネ	□情報	□その他
成果の内容						

【⑥課題·改善(Action)】

第4次大綱策定時【令和4年度計画 (Plan)へ反映】

行政に対する新たなニーズによる業務量の増加と職員採用による適性人材の確保が難しい状況となっている。増加した業務を処理するため、既存業務を見直し標準化した上で、業務軽減の手段として、委託化を検証する必要がある。

令和4年度【令和5年度計画(Plan)へ反映】

現状の業務実態を把握するにあたり、各課が自己分析により検討するには限界がある。外部の視点によるり ではについて、委託化の検討に際し、業務実態把握が必要である。

令和5年度【令和6年度計画(Plan)へ反映】

令和6年度【令和7年度計画(Plan)へ反映】

令和7年度【令和8年度計画 (Plan)へ反映】